

平成31年●月●日

長岡市長 磯田 達伸 様

寺泊地域委員会 委員長 河合 潤 一

寺泊地域における生活交通対策について（要望）

平素、市政発展のために御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

寺泊地域委員会は、地域の課題解決に向けた検討結果を踏まえ、高齢者が安心して暮らせる生活環境の向上について、下記のとおり要望いたします。

事情を御賢察のうえ御検討くださるようお願いいたします。

1 地域の現状

寺泊地域では、少子高齢化、人口減少が急速に進み、高齢化率は36%を超え一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。このような状況の中で、バスや鉄道などの公共交通機関は、人口減少や車社会の進展に伴い利用者は減少し、減便等により利便性が低下しつつあり交通弱者にとっては深刻な問題となっています。

2 要望の経緯

今後、少子高齢化が一層進むことが予測され、将来を見据えた公共交通空白地域等の生活交通の在り方について、地域の最重要課題として地域委員会の分科会で平成27年度より検討してまいりました。

平成28年には公共交通空白地域の65歳以上を対象としたアンケート調査や、小国地域・川口地域の先進事例を参考に寺泊地域のニーズに合った生活交通体制などについて検討を重ねた結果、以下のとおり要望する運びとなりました。

3 要望の内容

長岡市の「地域公共交通総合連携計画」を踏まえ、寺泊地域における交通空白地域等の生活交通体制の確保について4年間検討を行い、寺泊の実情から、燕市など近隣の医療機関等目的地まで運行する、デマンドタクシーやスクールバスの空き時間を活用した巡回バスの運行が最も有効な手段であるという結論に至りました。

今後は、住民のニーズや意向を反映させ、持続可能な交通手段を確保するため、寺泊地域生活交通検討委員会（仮称）を立ち上げ、実現に向け一歩踏み込んだ検討を進めていく必要があると考えますので、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

また、運営母体の選定につきましても、既存のNPO法人もなく本件のみで法人設立が難しいため、コミュニティセンターや社会福祉協議会などが運営できるような制度の緩和について検討くださるよう要望いたします。